

## 2023年3月 東京地区百貨店売上高概況

2023年4月25日

### I. 概況

1. 売上高総額	1,380億円余
2. 前年同月比(増減率)	12.6%(19か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭14.3%(90.0%)：非店頭-0.2%(10.0%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	727,948㎡ (前年同月比：-8.8%)
6. 総従業員数	13,965人 (前年同月比：-6.9%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 26.3%、9-11月 16.2%、10-12月 10.3%、 11-1月 11.0%、12-2月 14.6%、1-3月 17.2%

[参考] 2022年3月の売上高増減率は11.3%

#### 【特徴】

- (1) 3月の東京地区は、売上高12.6%増、入店客数13.8%増と共に二桁の伸びとなった。前年のまん延防止等重点措置(3/21まで)の反動の他、外出機会の増加、卒入学等オケージョン需要の回復、気温上昇といった好条件に加え、各社の組織顧客向け施策や物産催事等の好調推移、更には高額商材の継続伸長が売上増に寄与した。2019年比では売上高2.8%減と、前月同様コロナ前には僅かに届かなかった。
- (2) 商品別では、主要5品目全てプラスとなった。主力の衣料品(15.4%増/18か月連続)は、卒入学・新生活需要から、紳士・婦人共にビジネスやフォーマル商材が好調に推移し、特に婦人服ではブラウス、パンツ、スカート等が伸長した。また気温上昇から、薄手のカーディガンや軽めのアウターが好調だった他、半袖商材にも動きが見られた。
- (3) 身のまわり品(23.0%増/19か月連続)は、ラグジュアリーブランドを中心に好調さを持続した。当月のトピックとして21日に3つの開運日(一粒万倍日・天赦日・寅の日)が重なり、特に財布が伸長した。旅行需要も活況で、トラベルバッグは先月同様に良く動いた。雑貨(16.4%増/19か月連続)は、時計で一部在庫不足が見られたが、円安による訪日客の高額品需要の強さもあって好調を維持している。化粧品は13日からのマスク任意化で、ベースメイク・メイクアップ・UVケア商材が大幅回復しており、訪日客需要も戻りつつある。
- (4) 食料品(0.1%増/19か月連続)は、人が集まる機会の増加から、引き続き手土産や慶祝需要で菓子が好調だった他、お花見の解禁で弁当やオードブル、和洋酒等も堅調だった。
- (5) 4月中間段階の商況は、前年比20.0%増(4/17時点)で推移している。コロナ前の2019年比でも約4%増と、一段と回復基調を強めている。

#### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)  
①増加した：17店、②変化なし：0店、③減少した：1店
- (3) 3月歳時記(ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数12店舗)  
①増加した：7店、②変化なし：4店、③減少した：1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2023年3月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>138,047,043</b>	<b>100.0</b>	<b>12.6</b>
紳士服・洋品	10,141,775	7.3	18.6
婦人服・洋品	22,478,284	16.3	17.7
子供服・洋品	4,729,153	3.4	5.8
その他衣料品	1,664,743	1.2	-2.3
<b>衣 料 品</b>	<b>39,013,955</b>	<b>28.3</b>	<b>15.4</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>23,172,669</b>	<b>16.8</b>	<b>23.0</b>
化粧品	14,384,151	10.4	22.4
美術・宝飾・貴金属	13,046,539	9.5	12.0
その他雑貨	5,049,333	3.7	12.3
<b>雑 貨</b>	<b>32,480,023</b>	<b>23.5</b>	<b>16.4</b>
家 具	1,837,600	1.3	14.0
家 電	1,083,337	0.8	1.5
その他家庭用品	3,269,219	2.4	8.1
<b>家 庭 用 品</b>	<b>6,190,156</b>	<b>4.5</b>	<b>8.5</b>
生 鮮 食 品	3,132,473	2.3	-6.8
菓 子	10,942,070	7.9	5.5
惣 菜	6,276,622	4.5	-3.2
その他食料品	8,974,385	6.5	-1.2
<b>食 料 品</b>	<b>29,325,550</b>	<b>21.2</b>	<b>0.1</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>2,431,083</b>	<b>1.8</b>	<b>27.2</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,850,811</b>	<b>1.3</b>	<b>-12.5</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,582,796</b>	<b>2.6</b>	<b>19.9</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,756,157 千円	-9.2
従 業 員 数	13,965 人	-6.9
店 舗 面 積	727,948 m <sup>2</sup>	-8.8

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全てプラスとなった。その他の品目は、化粧品が19か月連続、美術・宝飾・貴金属が26か月連続、菓子が25か月連続でプラスとなった一方、生鮮食品が6か月連続、惣菜が25か月ぶりにマイナスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>12.6</b>	<b>—</b>	<b>19か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	18.6	1.3	17か月連続プラス
婦人服・洋品	17.7	2.8	19か月連続プラス
子供服・洋品	5.8	0.2	9か月連続プラス
その他衣料品	-2.3	-0.0	2か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>15.4</b>	<b>4.2</b>	<b>18か月連続プラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>23.0</b>	<b>3.5</b>	<b>19か月連続プラス</b>
化粧品	22.4	2.1	19か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	12.0	1.1	26か月連続プラス*
その他雑貨	12.3	0.5	13か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>16.4</b>	<b>3.7</b>	<b>19か月連続プラス</b>
家具	14.0	0.2	2か月ぶりプラス
家電	1.5	0.0	6か月連続プラス
その他家庭用品	8.1	0.2	3か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>8.5</b>	<b>0.4</b>	<b>3か月連続プラス</b>
生鮮食品	-6.8	-0.2	6か月連続マイナス*
菓子	5.5	0.5	25か月連続プラス*
惣菜	-3.2	-0.2	25か月ぶりマイナス*
その他食料品	-1.2	-0.1	9か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>19か月連続プラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>27.2</b>	<b>0.4</b>	<b>13か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-12.5</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>19.9</b>	<b>0.5</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-9.2</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>